中学校第２学年　英語科学習指導案

日　時　平成○年○月○日　○校時
授業者　○○○○

１　単元名　Unit5　Universal Design　（12 時間）

２　本時について（11/12 時）

（１）本時の指導

30 歳までの自分の人生設計（My Dream Life Plan）を接続詞を用いて説明したり、それに対する質疑応答をしたりするができる。【外国語表現の能力・話すこと】

（２）授業構想

本単元では、日常生活の中に見られるユニバーサルデザインの商品や考え方を題材に、自分の考えやその理由を「if～」や「because～」等の接続詞を使って表現する方法を学んだ。

単元終末の本時には、自分の人生設計（My Dream Life Plan）をテーマにすることで、これまでに学んだ接続詞を用いた文法表現を活用し、自分の考えや気持ちを正しく伝えたり、聞き手が質問をして内容を確認したりするコミュニケーション活動を設定し、主体的にコミュニケーションの楽しさを味わいながら英語で話す表現力を高めたいと考えた。

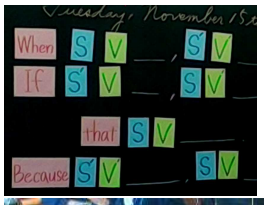
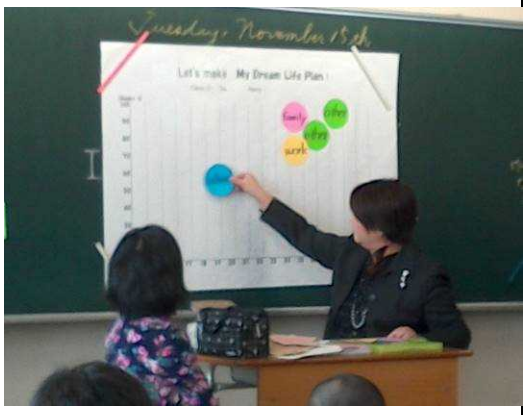
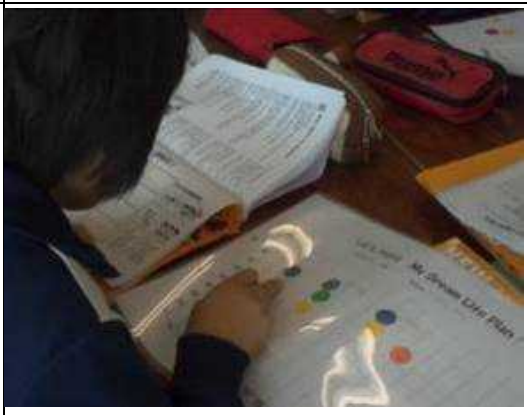
授業の導入時には、カードゲーム形式で接続詞を用いた文のパターン・プラクティスを行うことで、学んできた表現方法を視覚的に確認し、互いにコミュニケーションを楽しむ雰囲気を作りたい。また、伝える内容を「family」「work」「other」の３点にしぼり、教師が対話のモデルを示す。生徒は、教師のモデルや自分の考えを整理したワークシートを参考にすることで、どの生徒も主体的に取り組める学習にしたい。

（３）展開

学習活動	指導の工夫	工夫
１　カードゲーム形式で、接続詞を用いた文のパターン・プラクティスをする。（グループ）	○　パターン・プラクティスの時、絵札を用い、英語が苦手な生徒でも興味を持って取り組めるようにする。	①視覚化 ←ここをクリック
２　教師の“My Dream Life Plan”についての対話をして、これからの活動のモデルを示す。（一斉）	○　「何歳の時に」「何をやる」といった簡単な表現で対話の例を示す。 ○　話題を「family」「work」「other」の３つに絞り、シンプルで生徒の興味をひく話題を扱う。	②焦点化 ←ここをクリック
３　あらかじめ作成しておいた人生設計図を用いて、30 歳までの“My Dream Life Plan”について３つの事柄について説明できるように練習する。（ペア）	○　“My Dream Life Plan”について英語で話す際にヒントとなる語句を、黒板に提示する。 ○　表やグラフ、シールなどを用いて、“My Dream Life Plan”が目で見ても理解できる工夫をする。	③視覚化 ←ここをクリック
４　人生設計図を用いて、順番に自分のライフプランについて英語で話す。説明が終わったら、質疑応答をする。（グループ） ５　何人かの生徒の“My Dream Life Plan”を発表してもらい、全体で質疑応答をするなどして共有する。（一斉）	○　４人グループで「family」「work」「other」の３点について質疑応答をする際に、質問が出やすいように、必要に応じて「Question word」シートの活用を促す。 ○　よりよい表現方法について、グループ内で意見を出し合い、表現方法を整理するようにする。難しい場合は、アシスタントティーチャーに「ヘルプカード」を提示し、表現方法のヒントをもらいグループとしての表現方法をまとめる。	④共有化 ←ここをクリック

３　評価

○終末問題に対する取組（外国語表現の能力）A：接続詞を用いて説明したり、質疑応答をしたりすることができている。B:文章で説明や質疑応答ができている。C:説明や質疑応答を文章にできない。

	写　真	説　明
①	 	【視覚化】 始めに、これまでに学んだ、“When”，“If”，“that”，“Because”などの接続詞を確認しました。主語は青、動詞は緑、接続詞はピンクなど品詞ごとにカードを色分けすることで、色を手掛かりに語順を理解できるようにしました。 次に、４名１組でカードゲームを行いました。１人が接続詞を使った文を読み、他の３人が読まれた文に合った絵札を選び、残りの文を作りました。読み手の“When it’s hot”等の言葉に対し、視覚的に連想を助ける絵札があるため、英語が苦手な生徒も言葉の意味を推察しながら、活動に参加できました。 指導案に戻る
②		【焦点化】 “My Dream Life Plan”の活動では、横軸を年齢(14～30 歳)、縦軸を幸福度（%）で表した図を使って将来の自分の計画を立てました。 接続詞を使って「何歳の時に」、「何をやる」といった簡単な文を作りました。話し合う内容を「family」「work」「other」の３つのキーワードで示し、論点を絞って行いました。 また、教師がペアになり、実際に対話形式で活動のモデルを示しました。活動を焦点化することで、生徒はやり方を理解し、意欲的に取り組みました。 指導案に戻る
③		【視覚化】 生徒は前時に作っておいた“My Dream Life Plan”のワークシートを見ながら、話す内容を考えました。教師が活動のモデルを示した際に黒板に提示した掲示物と同じものをワークシートにしたことで、スムーズに活動に入ることができました。 また、これまでに学習した接続詞の用法をまとめた資料を用意したことで、表現方法に迷ったときには、資料に目を通しながら、声に出して練習する様子が見られました。 指導案に戻る
④		【共有化】 自分の発表に自信が持てるようペアで発表の練習を行い、互いに表現方法について意見を伝え合いました。 その後、４人グループで“My Dream Life Plan”の発表と質疑を行いました。日頃の帯活動で使っている「Question word」シートを活用することで、発言の少ない生徒も、質問を投げ掛けたり質問に答えたりする様子が見られました。 このように友達同士で伝え合ったり、質疑応答に何度もチャレンジしたりし、少しずつ自信をつけながら本時のねらいに迫ることができました。 指導案に戻る